

課題発見ゼミナール 眞弓クラス希望者：5名

眞弓先生のゼミを希望する 1 つ目の理由は自分が統計学が苦手だからです。山口先生が仰ったように、苦手な分野や嫌いな分野を避けて通ってはいつまで経っても克服できません。小中高と、避けられる理数系分野は全て避けてきたので先生から教えていただけるチャンスの今、苦手分野の克服のためにまずは統計学の基本を学びたいと思います。

2 つ目の理由は自分が大学で研究する上で統計学が必要になってくるからです。データを引用したりフィールドワークをしたりする際に統計学を学んでいないと研究に使用できないので、その為にも統計学を学びたいと思います。

これまでの大学の授業で学んだことのひとつとして、資料を読み解くことの重要性が挙げられる。資料はただ見るだけ、引用するだけではあまり意味がない。きちんと読み込み、自分の中で整理し、理解できた場合、知識や根拠となる。もちろん知識を増やすことは大切だが、そもそも資料を理解すること自体が大切なのではないだろうか。そこで、この課題発見ゼミナールを通じて、資料ができた背景や統計の数値の表すことなどについて考察できる能力を身につけたい。そして資料や統計データの情報を正しく理解し、それらを元に、説得力のあるプレゼンテーションやレポートを作成できるようになりたいと考えている。

社会では論理的な思考が必要であると思う。レポートの書き方などを前期で学んだので、後期では、実際に統計を学ぶことで論理的な思考を身につけていきたい。また、大学では統計学を学びたいと以前から思っており、統計を通して社会について知りたいから。

私がこのクラスを希望する理由は、大学で統計学の基礎を学んでおく必要があるからだ。就職すると必要になってくる技能であり、企業でも、顧客からのデータを解析して売り上げを伸ばすといった取り組みがなされている。しかし、高校までの数学の授業では、統計学で登場する相対度数や相関係数などを勉強するが、ごく浅い範囲での勉強に過ぎない。

眞弓先生は授業でも言われていたが、統計学にかなり精通しているようで、一から丁寧に教えてもらえることを期待している。一般的な企業で扱われる統計データがきちんと読み取れるようになるためにも、私はこの授業を受けたいと思う。

1つの理由として、私は高校の時理系クラスで、数学が好きだからというのがある。特別得意というわけでもないが、単純に好きで、「徳大で1番ノーベル賞に近い先生」という紹介を聞いて受けてみたくなった。

また、シラバスの授業計画に宣伝に利用されるデータの信ぴょう性とあった。日常生活でよく目にする様々な宣伝がデータで数学的に表され、またその信ぴょう性について考えていくことは、発展させていくと、悪質な宣伝や広告に騙される人を救うことに繋がるのではないか。統計学を使って犯罪を減らすなど、他にも可能性は無限だと今の私で感じた。授業を受けて、さらに広げていきたい。